

町民参加のまちづくりインタビューの結果

1 調査対象

「ふれあいまつり2007」の来場者
属性（居住地・性別等）を問わない。

2 実施日

「ふれあいまつり2007」開催日
平成19年11月3日（土）・4日（日） 両日とも午前10時から午後3時まで

3 実施目的

町民参加について広く関心を持ってもらうこと
町民参加の権利と仕組みを定義する条例作成の動きを知ってもらうこと
「町民参加のまちづくり地区懇談会」をPRすること
来場者から、町民参加の傾向・意向を聞き取ること

4 実施方法

来場者に次の要領でインタビューし、町民参加の意向・傾向を調査する。

進め方

- ・政策調整課ブースに、質問及び回答欄を記載したパネルを設置。来場者を呼び止め、当てはまる回答欄へシールを直接貼り付けてもらう。
- ・また、サンドイッチマンは、政策調整課ブースと「町民参加のまちづくり地区懇談会」の広告塔として会場内を巡り、来場者にブースと同様のインタビューを行うとともに、地区懇談会のPR（チラシ配布）を行う。

質問内容

質問1 これからの“まちづくり”のかたち、あなたはと思う？

（当てはまる回答を一つ選択）

第6次総合計画策定に係る住民意識調査（H17年12月実施）と同じ設問

〔回答項目〕

行政が責任を持って計画し、実施する 住民には情報提供をしてほしい
行政が計画する前に住民の意見を聞き、実施は行政が責任を持って行う
住民参加で計画をつくり、住民と行政が協力して実施する
住民参加で計画をつくり住民の自主性に任せて実施する 行政は支援に徹するべき

質問2 もっと住民の声が届きやすくするために行政にしてほしいことは？

(特に重視する回答を選択・複数回答可)

[回答項目]

- わかりやすい内容で地域や行政の情報を教えてほしい
- 町の事業の計画づくりから参加できるようにしてほしい
- 地区や町のこといろいろ提案できる方法や機会がほしい
- 町の重要なことを決める前には住民の意見を聞いてほしい

5 実施結果

回答総数 306人

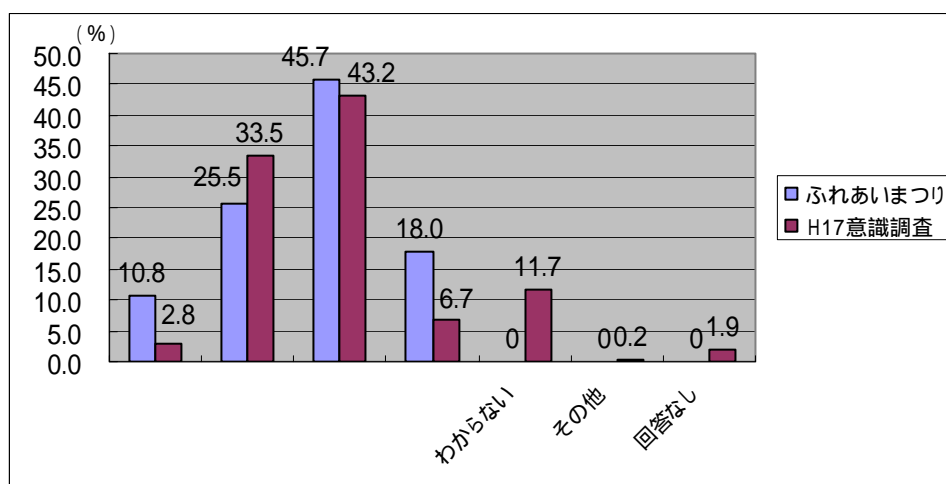
実施結果

質問1 これからの“まちづくり”のかたち、あなたはと思う？

(当てはまる回答を一つ選択)

第6次総合計画策定に係る住民意識調査（H17年12月実施）と同設問です。
今回の調査では、「わからない」「その他」を選択する項目は設けていません。

項目	回答数	回答率
行政が責任を持って計画し実施する 住民には情報提供をしてほしい	33	10.8%
行政が計画する前に住民の意見を聞き、 実施は行政が責任をもって行う	78	25.5%
住民参加で計画をつくり、住民と行政 が協力して実施する	140	45.7%
住民参加で計画をつくり、住民の自主 性に任せて実施する 行政は支援に	55	18.0%
合計	306	100%

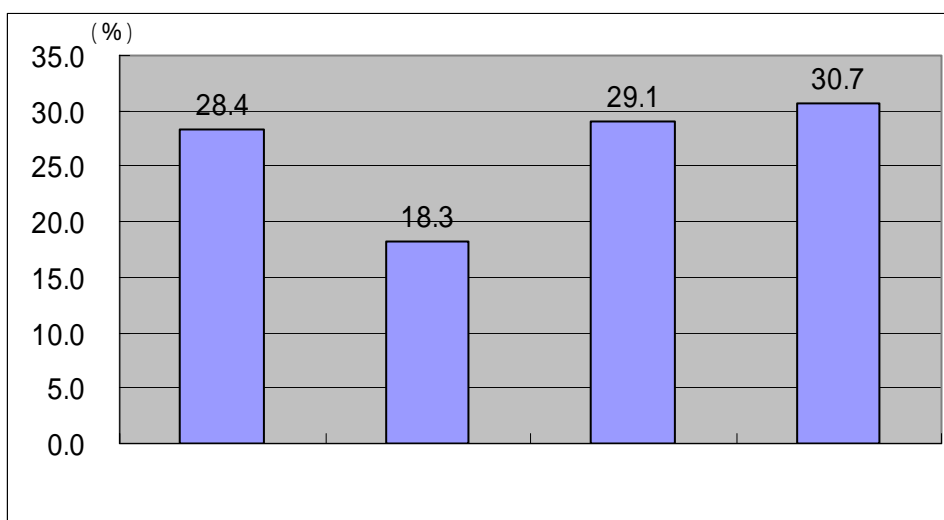


- ・「住民参加で計画をつくり、住民と行政が協力して実施する」という考えの割合が 45.7% ともっとも多く、次いで、「行政が計画する前に住民の意見を聞き、実施は行政が責任をもって行う」が、25.5%となっており、H17 年に実施した意識調査と概ね同様の傾向が現れました。
- ・ H17 年意識調査と対比して、「行政が責任を持って計画し、実施する。住民には情報提供をしてほしい」が約 7 ポイント多くなっている反面、「住民参加で計画をつくり、住民の自主性に任せて実施する。行政は支援に」と回答した人が約 11 ポイント多くなっています。

質問 2 もっと住民の声が届きやすくするために行政にしてほしいことは？

(特に重視する回答を選択・複数回答可)

項目	回答数	回答率
わかりやすい内容で地域や行政の情報を教えてほしい	87	28.4%
町の事業の計画づくりから参加できるようにしてほしい	56	18.3%
地区や町のこといろいろ提案できる方法や機会がほしい	89	29.1%
町の重要なことを決める前には住民の意見を聞いてほしい	94	30.7%



- ・各項目のねらいは、回答から得られた傾向を今後の素案作成の素材として活かすことにあります。

(項目) 情報受発信・共有の拡充、行政の透明性向上などのニーズ

(項目) 参画・参加、協働の拡充、委員会等の公募枠の拡大などのニーズ

(項目) 新たな提案制度の創設、協働の促進、地区懇談会等の実施などのニーズ

(項目) パブリックコメントの実施や住民投票などのニーズ

- ・ 、 、 の項目が約3割、 は約2割の人が重要視する傾向が現れています。
複数回答が可能な設問にもかかわらず回答数が低調だった理由の一つは、パネルヘシールを貼り付けてもらう演出により、一つだけ選択する人がほとんどであったことが挙げられます。

その他の意見

質問1、回答項目 に関連して...

- ・ 行政が責任を持って実施するというを基本として実施するにあたり、事前に住民の意見を聞いても、聞くだけでなく、いかに反映させて実施するかが大事。
- ・ まず意見を聞いて、考えて、その結果を公開した上で、再度意見を聞く。そうしたプロセスが大事。

質問1、回答項目 に関連して...

- ・ 一緒に計画し実施するべきだと思うが、行政の団体との接し方をもっとしっかりと考えるべき。

質問1、回答項目 に関連して...

- ・ 「行政は支援に徹する」というのは支援の度合いによる。民間企業が支援すると決めたら徹底的に支援する。行政は、それに比べて意識も取り組みも低い。

質問2、回答項目 に関連して...

- ・ 「桜さんの何でも言ってちょ」で意見を出しても音沙汰がなかった。聞くだけではダメ。
- ・ 情報を発信するだけでなく、情報に対して住民から跳ね返ってくる意見を拾うなど、もっと双方向性を。
- ・ 肝心なことは、情報を流した後、行政がどのような対応をするかだ。
- ・ インターネットの利用者が非常に多いのもっと活用してはどうか。メールを使った情報発信など。
- ・ ホームページをもっと有効に活用してはどうか。意見を直接書き込めるようにしたりするなど。
- ・ もっと情報の提供の仕方(入手のしやすさ)を分かりやすいなるとよい。情報が集約している窓口(この課に行けば町の情報が分かる)があるとよい。
- ・ もっと積極的に情報を開示し、行政の透明性を高めるべき。
- ・ 河北地区では、大変な思いをしてごみ減量に取り組んでいる。しかし他の地区ではや

られていないようだ。なぜ河北だけ。もっと他の地区にも広げ、町全体の取り組みにしてほしい。

質問2、回答項目 に関連して...

- ・インターネットを通じた参加の仕組み（意見募集等）を行えるようにしてはどうか。
- ・委員会の委員になったことがあるが、人によっては自己主張しかしない人がいる。行政は、委員の人選や委員会の開き方（事前に会議運営のルールや会議開催の趣旨説明）をしっかりと考えてほしい。
- ・住民が行政に係わることは確かに大切なことだが、行政も、もっと地域や団体活動に足を運ぶべき。

質問2、回答項目 に関連して...

- ・住民から意見を受け止めたら、その後、どのようなプロセスを経て施策に反映したかを住民にフィードバックする仕組みがいたと思う。

質問2、回答項目 に関連して...

- ・重要な案件は、決定してしまう前に住民に情報を流し、意見を聞くプロセスが必要。

その他...

- ・今のままで十分。特に希望することはない。
- ・何よりも先に、行政職員はもっとプロ意識を持って取り組んでほしい。電話の対応からでも。